



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9008 URL <https://www.keio.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 紅村 康
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部経理部 (氏名) 村上 公彦 (TEL) 042-337-3135
 経理担当課長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	106,997	△1.7	12,160	△5.2	11,993	△10.4	8,321	2.3
2019年3月期第1四半期	108,867	5.8	12,831	7.0	13,389	13.9	8,132	4.2

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 7,046百万円(△10.2%) 2019年3月期第1四半期 7,847百万円(△22.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	68.15	—
2019年3月期第1四半期	66.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	867,648	372,008	42.8
2019年3月期	889,341	368,022	41.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 371,716百万円 2019年3月期 367,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	27.50	52.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	226,300	4.0	24,300	2.8	23,500	△1.1	16,100	6.4	131.86
通期	460,000	2.8	43,300	8.0	41,900	6.7	28,500	4.7	233.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】10ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	128,550,830株	2019年3月期	128,550,830株
2020年3月期1Q	6,448,262株	2019年3月期	6,447,914株
2020年3月期1Q	122,102,653株	2019年3月期1Q	122,104,740株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】5ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	108,867	106,997	△1,870	△1.7	447,508
連結営業利益	12,831	12,160	△671	△5.2	40,078
連結経常利益	13,389	11,993	△1,396	△10.4	39,281
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	8,132	8,321	188	2.3	27,213
連結E B I T D A	21,590	21,012	△577	△2.7	76,731
連結減価償却費	8,657	8,750	93	1.1	36,248

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)におけるわが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の影響などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢のもとで、当社グループは、2018年度を初年度とする「京王グループ中期3カ年経営計画」に基づき、戦略投資案件の収益化および事業の選択と集中など、“成長の実現”に向けた諸施策を推進しております。

その結果、連結営業収益は、運輸業、流通業およびその他業で増収となったものの、不動産業およびレジャー・サービス業で減収となり1,069億9千7百万円(前年同期比1.7%減)、連結営業利益は、流通業、不動産業およびレジャー・サービス業で減益となったことから121億6千万円(前年同期比5.2%減)となりました。連結経常利益は119億9千3百万円(前年同期比10.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益の増加などにより83億2千1百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、210億1千2百万円(前年同期比2.7%減)となりました。

また、連結減価償却費は、87億5千万円(前年同期比1.1%増)となりました。

②当第1四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	33,308	33,502	0.6	5,836	6,014	3.0
流通業	41,073	41,491	1.0	1,650	1,577	△4.4
不動産業	12,191	10,109	△17.1	2,824	2,599	△8.0
レジャー・サービス業	18,818	18,387	△2.3	2,230	1,398	△37.3
その他業	10,523	10,913	3.7	242	503	107.7
計	115,915	114,404	△1.3	12,783	12,092	△5.4
連結修正	△7,047	△7,406	—	48	67	39.1
連結	108,867	106,997	△1.7	12,831	12,160	△5.2

(運輸業)

鉄道事業では、雇用情勢の改善や沿線人口の増加などにより、旅客運輸収入が0.8%増(うち定期0.2%減、定期外1.5%増)となったことに加え、「京王ライナー」の座席指定料金収入の増加などにより増収となりました。また、バス事業では、路線・高速などで増収となりました。これらの結果、営業収益は335億2百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は60億1千4百万円(前年同期比3.0%増)となりました。

(流通業)

百貨店業では、インバウンド売上が好調に推移したことなどにより増収となりました。また、ストア業では、前年度に開業した店舗が寄与したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は414億9千1百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は営業費用が増加したことなどにより15億7千7百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

(不動産業)

不動産賃貸業では、前年度に取得した物件が寄与したことなどにより増収となりました。一方、不動産販売業では、リノベーション物件や投資用マンションの売上減などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は101億9百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益は25億9千9百万円(前年同期比8.0%減)となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル(新宿)」で宴会部門の受注件数が減少したことなどにより減収となりましたが、前年度に開業した「京王プレミアホテル 京都烏丸五条」、本年5月に開業した「京王プレミアホテル 札幌」が寄与したことなどにより増収となりました。一方、旅行業では、取扱高の減少などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は183億8千7百万円(前年同期比2.3%減)、営業利益はホテル業で開業に伴う費用が増加したことなどにより13億9千8百万円(前年同期比37.3%減)となりました。

(その他業)

ビル総合管理業では、メンテナンス業務の受注増などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は109億1千3百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益は5億3百万円(前年同期比107.7%増)となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	105,040	105,165	0.1
	定期外	〃	69,071	70,125	1.5
	計	〃	174,111	175,290	0.7
旅客運輸収入	定期	百万円	9,190	9,169	△0.2
	定期外	〃	11,639	11,817	1.5
	計	〃	20,830	20,987	0.8

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	21,801	21,986	0.8	86,179
	バス事業	9,143	9,259	1.3	36,542
	タクシー業	3,149	3,041	△3.4	13,022
	その他	613	616	0.4	2,646
	消去	△1,400	△1,400	—	△6,166
	営業収益	33,308	33,502	0.6	132,224
	営業利益	5,836	6,014	3.0	14,710
流通業	百貨店業	22,217	22,380	0.7	89,535
	ストア業	12,361	12,604	2.0	50,327
	書籍販売業	1,581	1,477	△6.6	6,447
	ショッピングセンター事業	3,570	3,650	2.2	14,384
	その他	2,932	2,992	2.0	12,130
	消去	△1,591	△1,614	—	△6,402
	営業収益	41,073	41,491	1.0	166,423
	営業利益	1,650	1,577	△4.4	5,138
不動産業	不動産賃貸業	8,664	9,156	5.7	35,497
	不動産販売業	5,182	4,277	△17.5	20,966
	その他	536	656	22.5	2,463
	消去	△2,191	△3,981	—	△8,922
	営業収益	12,191	10,109	△17.1	50,004
	営業利益	2,824	2,599	△8.0	9,433
レジャー・サービス業	ホテル業	13,507	13,771	2.0	54,633
	旅行業	3,675	3,171	△13.7	17,686
	広告代理業	2,388	2,370	△0.7	12,556
	その他	1,817	1,768	△2.7	6,831
	消去	△2,570	△2,693	—	△11,231
	営業収益	18,818	18,387	△2.3	80,477
	営業利益	2,230	1,398	△37.3	6,983
その他業	ビル総合管理業	4,851	5,334	10.0	25,845
	車両整備業	1,643	1,561	△4.9	10,100
	建築・土木業	2,700	2,380	△11.8	23,730
	その他	1,792	2,131	18.9	7,870
	消去	△463	△495	—	△2,356
	営業収益	10,523	10,913	3.7	65,191
営業利益	242	503	107.7	5,247	

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第1四半期 連結会計期間	増減額
総資産	889,341	867,648	△21,692
負債	521,319	495,640	△25,679
純資産	368,022	372,008	3,986
負債及び純資産	889,341	867,648	△21,692
有利子負債	338,376	335,567	△2,809

(注)有利子負債は、借入金 + 社債により算出しております。

当第1四半期連結会計期間の総資産は、手元資金の減少や、減価償却の進行による有形固定資産の減少などにより216億9千2百万円減少し8,676億4千8百万円となりました。

負債は、工事代金の支払いなどにより256億7千9百万円減少し4,956億4千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより39億8千6百万円増加し3,720億8百万円となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間の有利子負債は3,355億6千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間、通期とも、前回公表時(2019年4月26日)の予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,963	34,421
受取手形及び売掛金	45,144	31,082
有価証券	19,200	17,700
商品及び製品	12,977	14,843
仕掛品	23,031	26,518
原材料及び貯蔵品	2,159	2,160
その他	6,677	7,096
貸倒引当金	△45	△46
流動資産合計	148,109	133,776
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	342,882	338,823
土地	228,209	226,769
建設仮勘定	28,413	30,210
その他（純額）	48,181	46,336
有形固定資産合計	647,687	642,139
無形固定資産	14,049	13,375
投資その他の資産		
投資有価証券	52,968	51,377
その他	26,664	27,118
貸倒引当金	△139	△138
投資その他の資産合計	79,494	78,356
固定資産合計	741,231	733,871
資産合計	889,341	867,648

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,058	14,133
短期借入金	70,998	70,796
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	6,625	4,824
引当金	4,646	4,108
その他	91,449	75,899
流動負債合計	212,780	189,762
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	127,377	124,770
退職給付に係る負債	21,266	21,201
その他	39,894	39,905
固定負債合計	308,538	305,877
負債合計	521,319	495,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,011	42,011
利益剰余金	274,501	279,770
自己株式	△19,542	△19,544
株主資本合計	355,994	361,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,527	9,409
為替換算調整勘定	8	3
退職給付に係る調整累計額	1,186	1,042
その他の包括利益累計額合計	11,723	10,455
非支配株主持分	304	292
純資産合計	368,022	372,008
負債純資産合計	889,341	867,648

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	108,867	106,997
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	83,997	82,511
販売費及び一般管理費	12,038	12,325
営業費合計	96,035	94,836
営業利益	12,831	12,160
営業外収益		
受取利息	61	5
受取配当金	637	636
持分法による投資利益	37	17
雑収入	751	184
営業外収益合計	1,488	844
営業外費用		
支払利息	886	793
雑支出	44	217
営業外費用合計	931	1,011
経常利益	13,389	11,993
特別利益		
固定資産売却益	20	1,703
工事負担金等受入額	6	28
その他	17	1
特別利益合計	44	1,733
特別損失		
固定資産除却損	148	168
固定資産売却損	0	141
固定資産圧縮損	5	26
その他	479	67
特別損失合計	634	403
税金等調整前四半期純利益	12,799	13,323
法人税等	4,667	5,009
四半期純利益	8,132	8,314
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,132	8,321

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	8,132	8,314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△69	△1,118
退職給付に係る調整額	△218	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△5
その他の包括利益合計	△284	△1,267
四半期包括利益	7,847	7,046
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,847	7,053
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	33,308	41,073	12,191	18,818	10,523	115,915	△7,047	108,867
セグメント利益	5,836	1,650	2,824	2,230	242	12,783	48	12,831

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
営業収益	33,502	41,491	10,109	18,387	10,913	114,404	△7,406	106,997
セグメント利益	6,014	1,577	2,599	1,398	503	12,092	67	12,160

(注) 1. セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。